

成長可能性に関する説明資料

Techpoint, Inc



2017年9月

証券コード: 6697

I. 会社概要

II. 沿革

III. 事業概要

IV. 監視カメラ向け製品について

V. 車載カメラ向け製品について

VI. 今後の成長戦略

I. 会社概要

会社概要

会社名 Techpoint, Inc. (テックポイント)

代表者 小里文宏 (こざとふみひろ)

本社住所 2550 N. 1st St., Suite 550, San Jose, Ca. 95131 U.S.A.

設立 2012年4月11日 (2012年10月 研究開発開始)

資本金* 9,968千米ドル (2017年6月末現在)



拠点 サンノゼ、サンディエゴ、東京、深圳、台北、ソウル

従業員数 63名 (2017年9月末現在)

事業内容 監視(防犯)カメラシステムと車載カメラシステム向け
半導体の設計及び販売

監査法人 BDO International Ltd.

業績 売上高 27百万ドル、当期純利益 3.4百万ドル
(2016年12月期連結)

* 株式発行時の払込金額の総額を記載しています

代表者 経歴

小里文宏 (Hiro Kozato) 、 Chief Executive Officer and President

ナスダック上場経験のあるシリアル・アントレプレナー
2社目のTechwellは上場後、約4.55億米ドルでIntersilに売却

1985年	カリフォルニア大学サンタバーバラ校 理学部数学科卒	
1986年	株式会社トーマン入社 車両輸出部配属	
1987年	株式会社リコー入社 電子デバイス事業部配属	
1989年	米国リコー駐在	
1995年	Sigmax Technologies, Inc. 共同設立 社長就任	1社目
1996年	Sigmax Technologies, Inc. 売却 (約2000万米ドル)	
1997年	Techwell, 共同設立 社長就任	
2006年	Techwell, Inc. ナスダック上場 (TWLL)	2社目
2010年	Techwell, Inc. 売却 (約4.55億米ドル)	
2012年	当社設立、現職就任	3社目

会社沿革

年 月	変遷の内容
2012年4月	カリフォルニア州法に基づき米国カリフォルニア州サンノゼ市に会社設立
2012年10月	研究開発を開始
2013年9月	HD監視カメラシステム事業への参入を目的として米国コネクサント社のSDI事業を買収
2013年10月	サンディエゴ事務所開設（米国カリフォルニア州サンディエゴ市）
2013年12月	中国事務所開設（中国広東省深圳市）
2014年2月	韓国事務所開設（韓国京畿道城南市）
2014年5月	独自規格のHD解像度クラスの映像送信用、受信用半導体HD-TVIを初出荷
2015年11月	開発・技術サポート及び日本における人材確保を主な目的として、当社100%子会社である日本法人「株式会社テックポイントジャパン」を設立（東京都渋谷区）
2016年1月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 株式会社テックポイントジャパンの本店を移転（東京都港区） ■ ISO9001規格及びISO14001規格合格
2016年3月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 車載向けAEC-Q100規格合格（該当製品名：TP2801及びTP2825） ■ 台湾事務所開設（台湾台北市）
2016年4月	顧客、技術サポートを主な目的として、中国事務所を法人化し、当社100%子会社である中国法人「科点科技（深圳）有限公司」（テックポイントチャイナ）を設立（中国広東省深圳市）
2017年7月	設立準拠法をデラウェア州法に変更

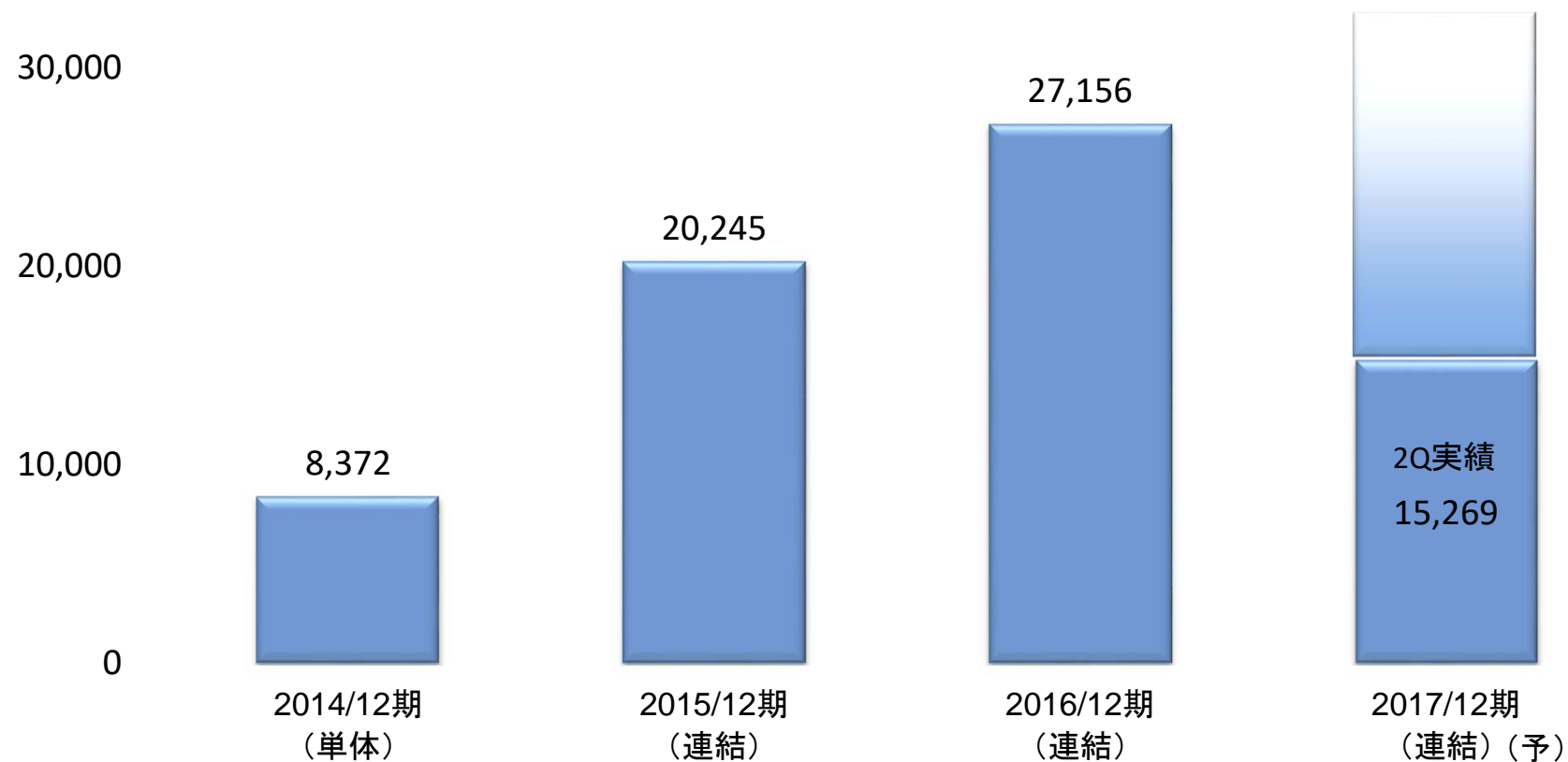
業績概要推移

科目	2014/12期 実績	2015/12期 実績		2016/12期 実績	
	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率	金額 (千円)	増減率
売上高	8,372	20,245	141.8%	27,156	34.1%
売上総利益	4,504	11,442	154.0%	14,421	26.0%
営業費用	6,192	7,556	22.0%	9,058	19.9%
うち研究開発費	3,014	4,964	64.7%	4,380	△11.8%
営業利益	△1,688	3,886	—	5,363	38.0%
税引前当期純利益	△1,734	3,889	—	5,363	37.9%
当期純利益	△1,735	4,057	—	3,481	△14.2%

売上高の推移

売上高の推移

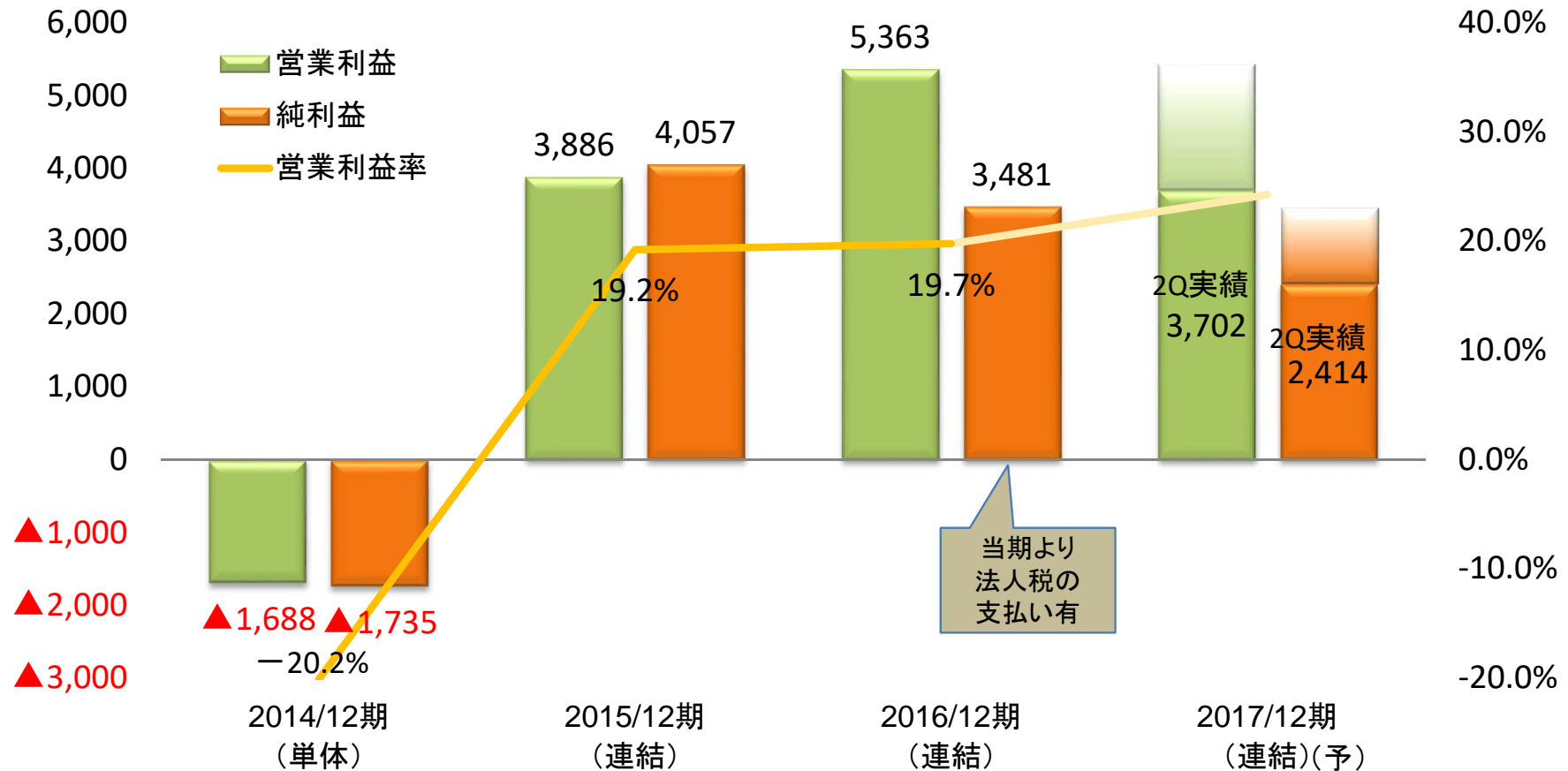
単位: 千米ドル



営業利益・当期利益の推移

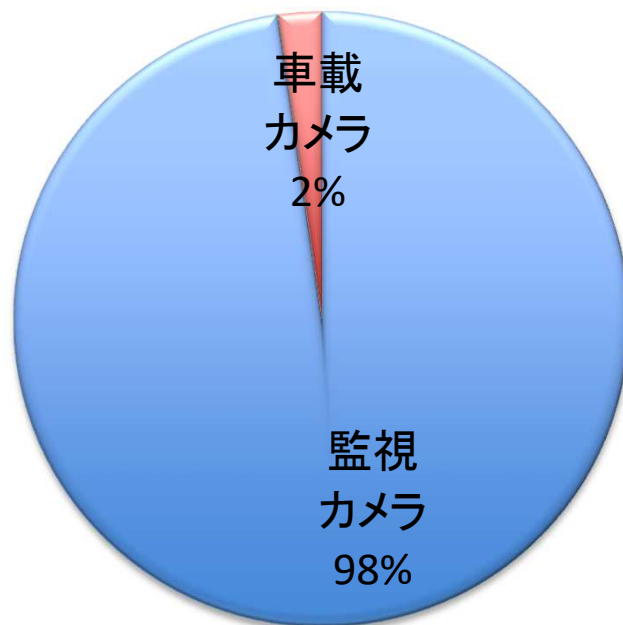
単位: 千円

営業利益・当期利益・営業利益率の推移

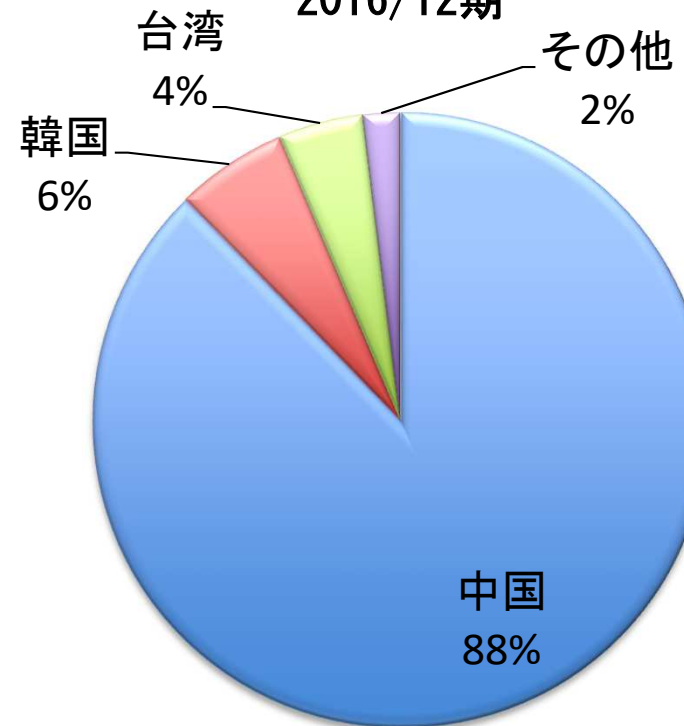


製品別・地域別売上高占率

製品別売上高
2016/12期



地域別売上高
2016/12期



貸借対照表推移

(千米ドル)

資産	2014/12期	2015/12期	2016/12期	負債	2014/12期	2015/12期	2016/12期
現金及び 現金同等物	4,080	9,463	10,006	買掛金	310	1,444	777
売掛金	-	2	79	未払費用	140	192	481
棚卸資産	1,095	1,381	2,583	早期行使ストック オプション関連債務	45	186	223
前払費用及び その他流動資産	144	466	273	顧客預り金	36	1,359	745
有形固定資産	176	170	401	繰延賃借料	9	-	-
繰延税金資産	-	829	1,022	その他長期負債	-	62	90
その他資産	21	172	1,188	負債合計	540	3,243	2,316
資産合計	5,516	12,483	15,552	純資産	2014/12期	2015/12期	2016/12期
				株主資本	8,794	8,794	8,794
				資本剰余金	91	298	813
				利益剰余金(累積欠損)	△3,909	148	3,629
				純資産合計	4,976	9,240	13,236
				負債及び 株主資本合計	5,516	12,483	15,552

Ⅲ. 事業概要

事業概要

監視（防犯）カメラシステム及び車載カメラシステム向け半導体の開発及び販売

監視カメラシステム
向け半導体



車載カメラシステム
向け半導体



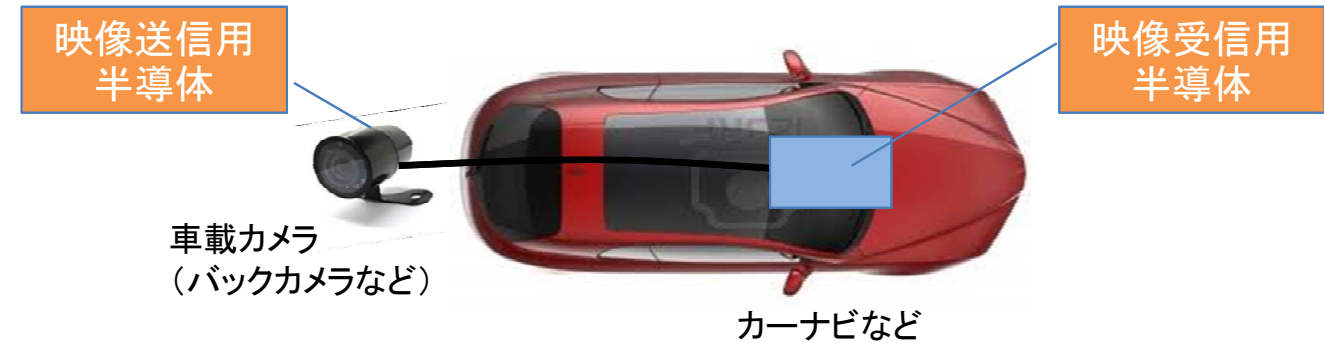
事業概要

カメラ側と、映像を受信するシステム側の両方に向けた半導体を提供

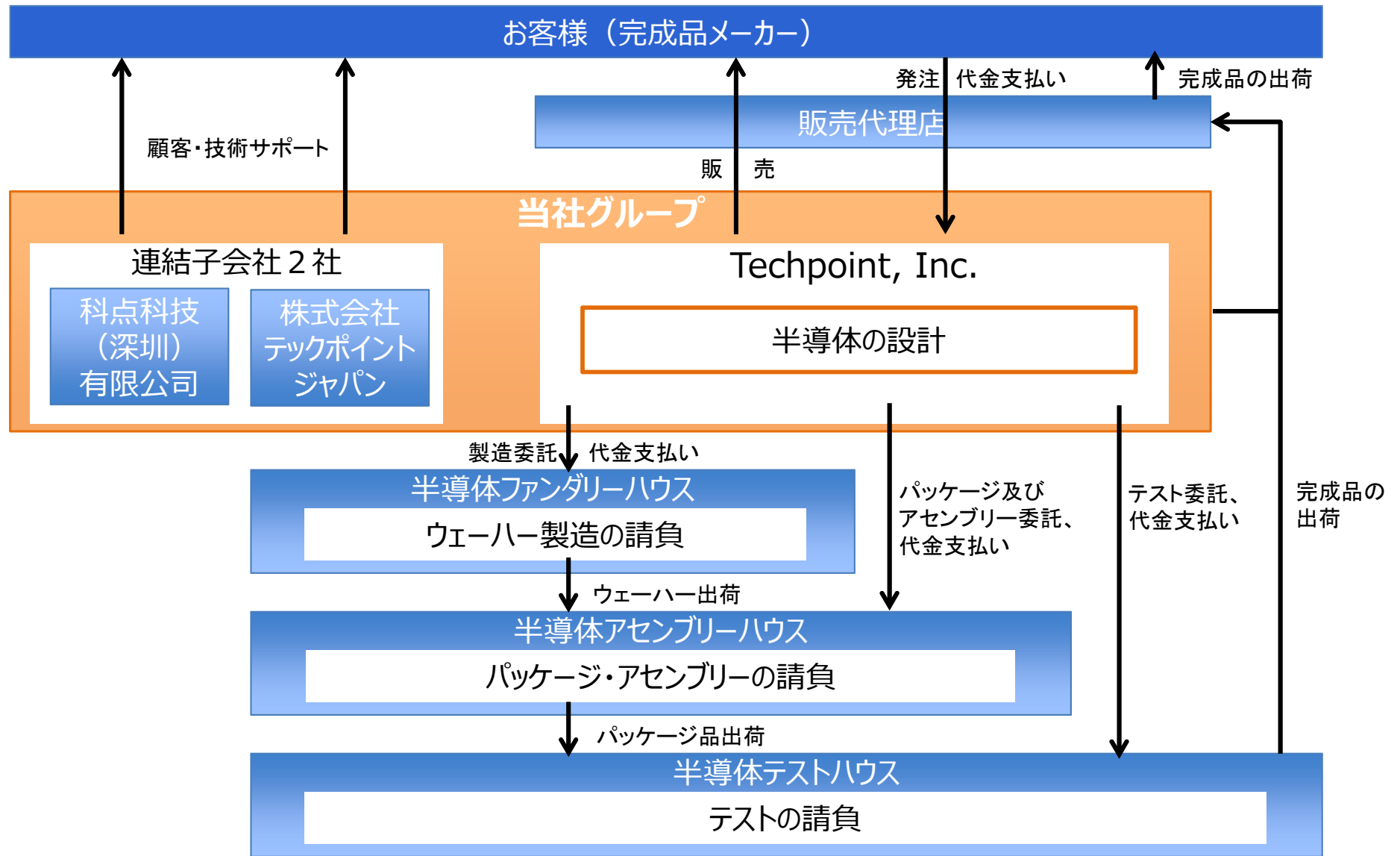
監視カメラシステム向け半導体



車載カメラシステム向け半導体



ビジネスモデル



当社伝送方式の特徴

低コストで高画質な映像伝送

強み

弱み

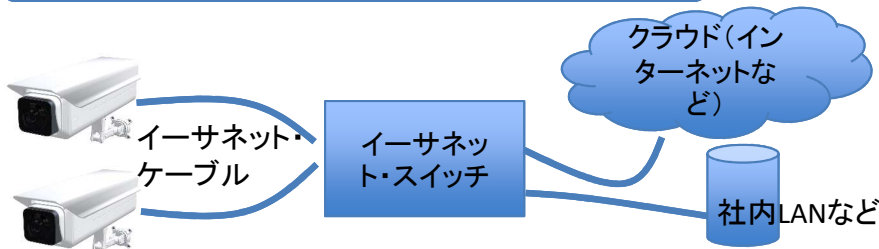
「従来型アナログ伝送」 (従来の主流)



- ★低コスト
- ★映像の遅延が無い

- 画質が低い (VGAクラス解像度)

「IP伝送」 (IPネットワークカメラ)



- ★画質が良い (HD画質)
- ★カメラ1台だけでもインターネットにつながる

- システム価格が高い
- 伝送距離が短い
- 不正アクセスの脅威がありセキュリティ対策が必要
- 映像の遅延がある

「アナログHD」(当社のソリューション)



- ★低コスト
- ★画質が良い (HD画質)
- ★専用ケーブル不要
- ★映像の遅延が無い
- ★伝送距離が長い
- ★耐ノイズ性が良い

- 設置台数の柔軟性が低い (DVRは4チャンネル以上)

* 4K対応品は研究開発の段階にあります

IV. 監視カメラ向け製品について

監視カメラの出荷台数予測

単位:100万台

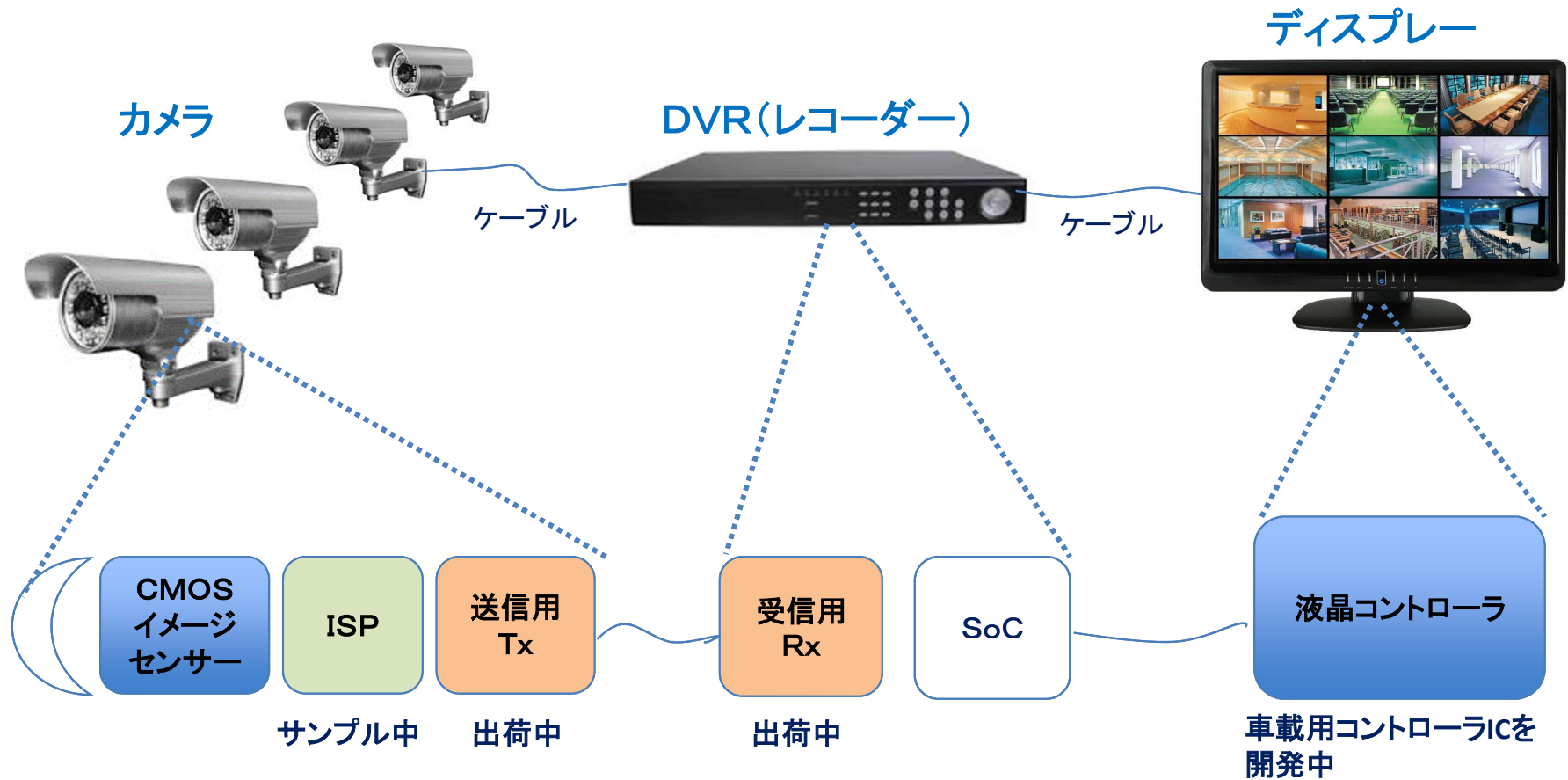
監視カメラの出荷台数規模予測



出所: 米MarketsandMarketsの調査レポート

「Video Surveillance Market Global Forecast to 2022」(2017年3月)より当社作成

製品 (活用例)



ハイライト

アナログ監視カメラの出荷台数は伸びる見込み
特に当社が得意とするHDアナログの需要は**安定的**

当社製品は、中国の主要メーカーであるHIKVISION（ハイクビジョン）など**主要監視カメラメーカーに採用**

特に、DVR用の受信用半導体（Rx）は、HDアナログのすべての規格の信号を受信できるため、各種メーカーの監視カメラとも接続して利用でき、他社に比して**優位**

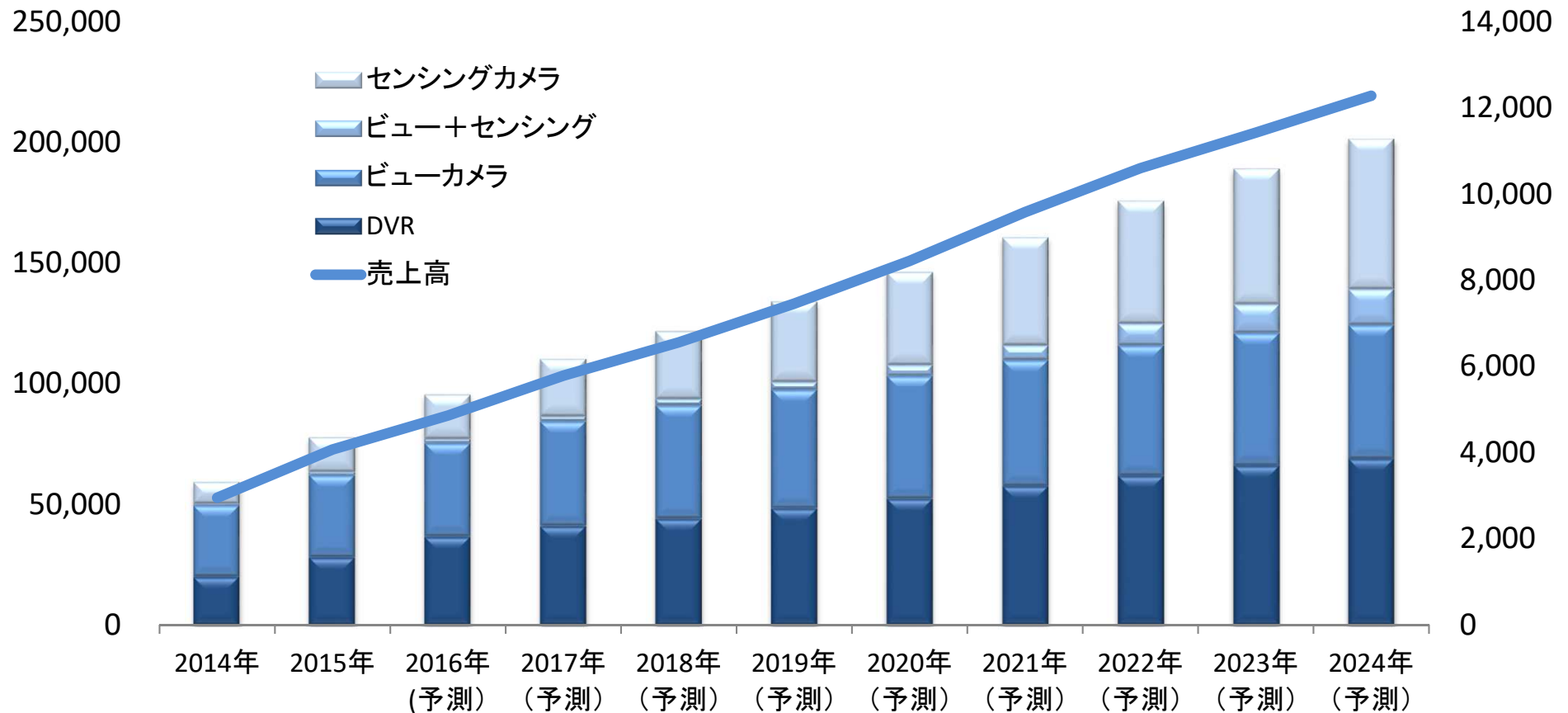
送信用半導体（Tx）に関しても、ISPと一体化した新製品の**サンプル出荷を開始**

V. 車載カメラ向け製品について

車載カメラ市場予測

単位: 1,000ユニット

製品別車載カメラシステム市場トレンド



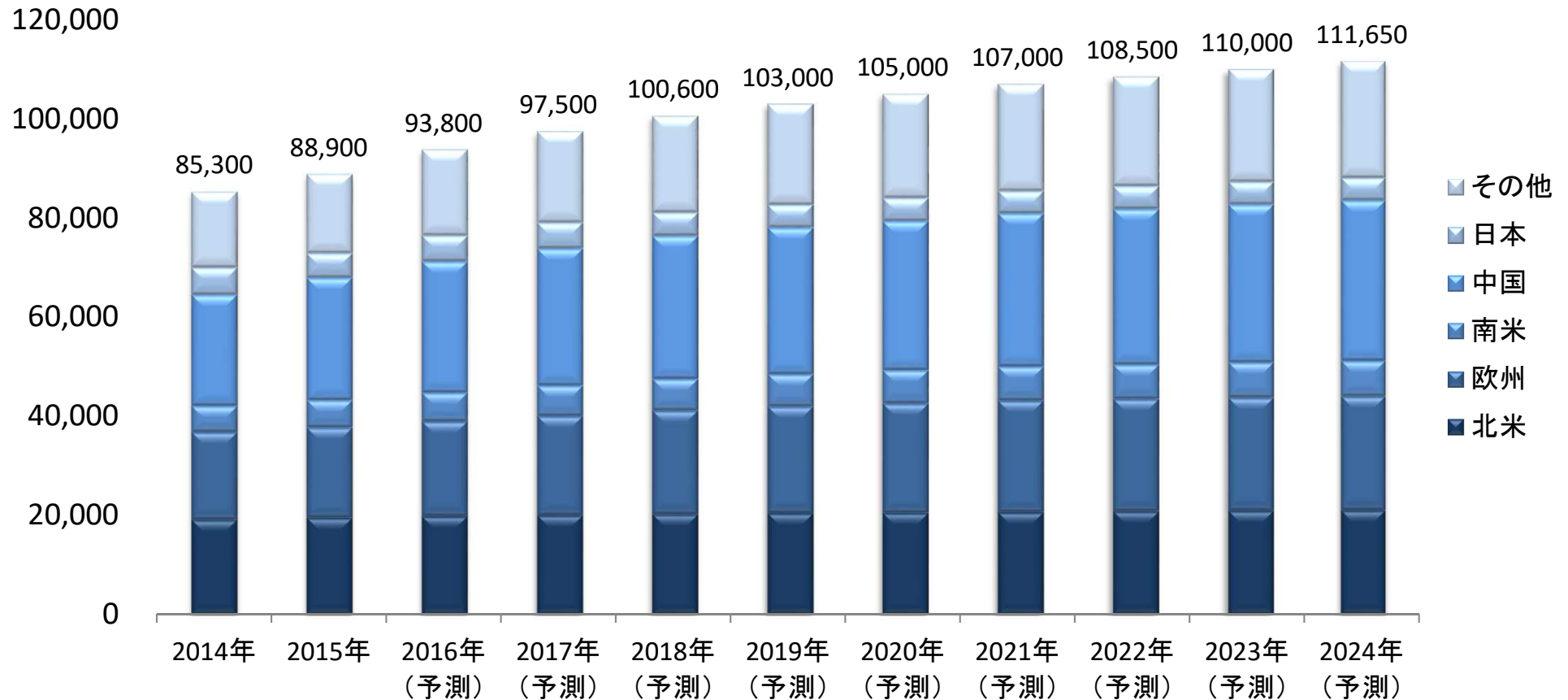
単位: 100万米ドル

出所: Techno Systems Researchの調査レポート
「Automotive Camera Market Analysis 2016」より当社作成

自動車生産台数予測

単位:1,000台

小型乗用車 地域別新車出荷台数トレンド



出所: Techno Systems Researchの調査レポート
「Automotive Camera Market Analysis 2016」より当社作成

車載カメラの用途・搭載数

ADASの進歩、自動運転のレベルアップにより、車載カメラ搭載数の増加機会

※ 車載カメラの機能数が増加



カメラ、レーダー、LIDAR等、複数のセンサーを組み合わせた構成の方向性

新ルール／法的規制の強化の潮流

各国行政府
交通安全関連団体

新ルール／法的規制
の強化

2018年米国でK T法施行予定
新車へのリアカメラの搭載義務化

自動車メーカー／車載機器メーカー

安全運転支援システム導入拡大へ

リアカメラ
(後方確認支援)

サラウンドビュー
カメラ

電子ミラー

自動ブレーキ用セン
サー (カメラ含む)

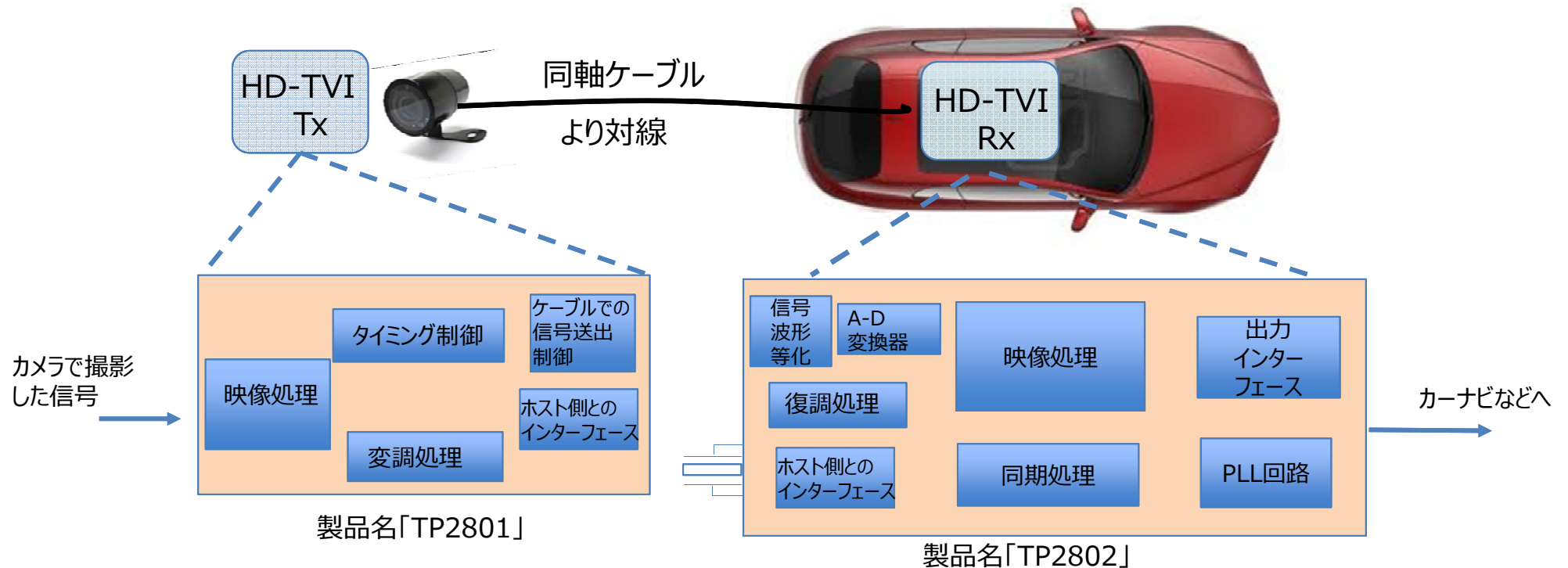
ライダー
(3D距離計測
センサー)

Techpointの半導体で実現できる
アプリケーション

弊社HD-TVIシステム

HD-TVI規格（アナログ伝送）

- 無遅延伝送
- ケーブルが安価
- コネクターが安価
- 配線が容易
- 耐ノイズ性能が高い
- 映像が途切れない
- ケーブル選択可能
- 伝送距離が長い
- IP設定不要
- HD解像度



ハイライト

車載カメラの市場は今後拡大する見通し

世界各国で、法的規制強化の潮流や運転者の安全志向の高まりにより、車載カメラを搭載する安全運転支援システムの導入拡大が見込まれる

車載モニタの大画面化に伴い、車載カメラシステムの高画質化の需要が見込まれる中、当社製品は、低コストで、車載カメラシステムをSD画質からHD画質にアップグレードが可能

既に大手自動車メーカーの採用実績⁽¹⁾がある。ほかの自動車メーカーとも商談が進行中

(1)ディーラーオプションとしての採用

VI. 今後の成長戦略について

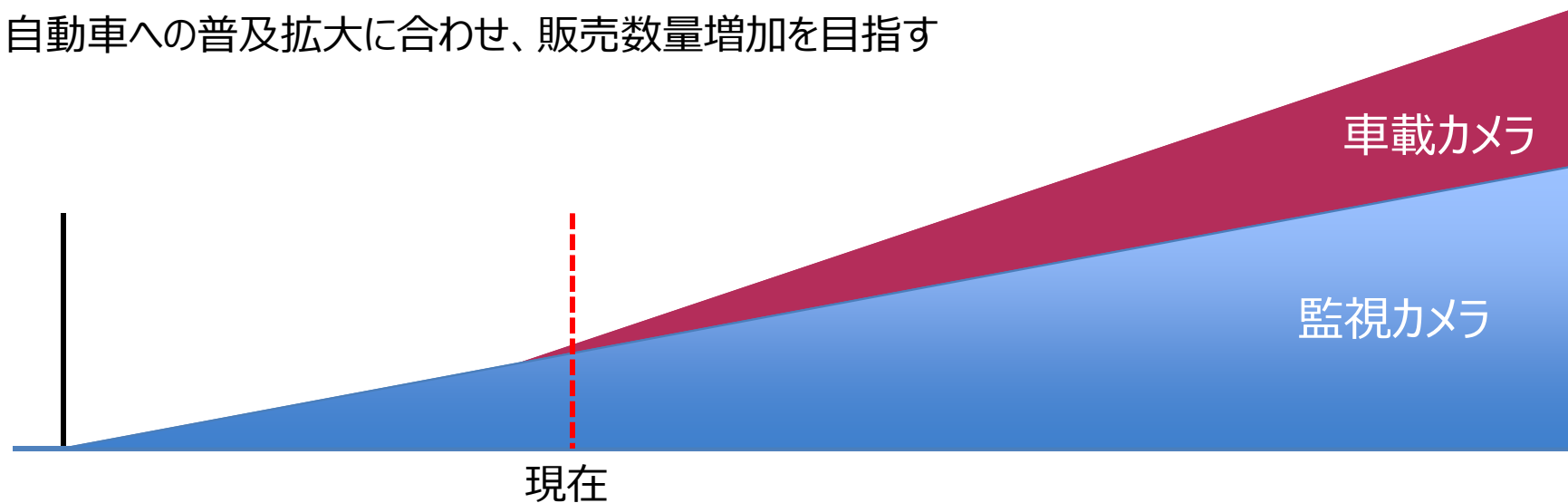
今後の成長イメージ

監視カメラシステム向け半導体

将来的には、CMOSセンサーまで含め、半導体とセンサーを一気通貫供給できる業界唯一の存在を目指す。競争力を強化へ

車載カメラシステム向け半導体

バックカメラやサラウンドビュー用途から、ドライブレコーダーや電子ミラーに用途を拡大。先進運転支援システムの自動車への普及拡大に合わせ、販売数量増加を目指す



免責事項

本資料は、当社グループの企業情報の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する有価証券への勧誘を構成するものではありません。また、本資料の全部又は一部を当社グループの承諾なしに公表又は第三者に伝達することはできません。

本資料のうち、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、実際の結果は本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

なお、本資料における記述は本資料の日付（又はそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社グループの企業情報以外の情報は、当社が公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。